

## 中学地理 グラフ問題1

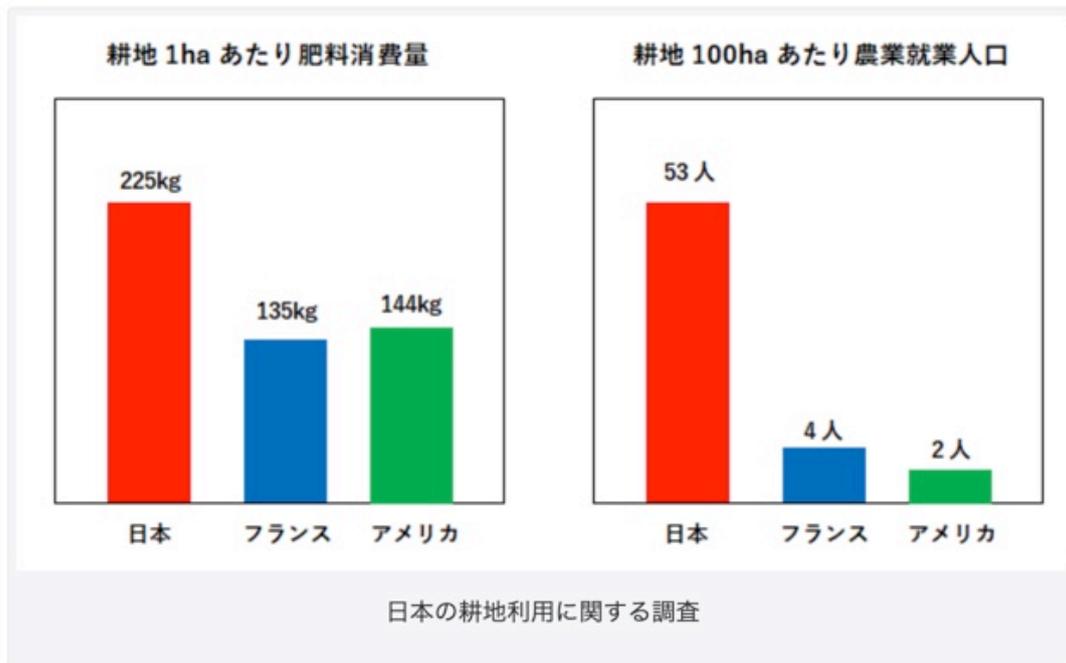
イギリスの輸出相手国

	1960年	割合	2010年	割合
1	アメリカ	9%	アメリカ	13%
2	オーストラリア	7%	ドイツ	11%
3	カナダ	6%	フランス	8%
4	西ドイツ	5%	オランダ	7%
5	南アフリカ	4%	アイルランド	6%

イギリス輸出国相手

上の表は、イギリスの輸出相手国上位5か国とそれぞれの国への輸出額にしめる割合を示しています。1960年と比べると2010年のイギリスの輸出相手国の上位5か国はどのように変化したといえるか。地域区分に着目し、総額に占める割合の変化を明らかにして簡潔に書け。

## 中学地理 グラフ問題2



上の2つのグラフからわかることを以下のようにまとめました。( ) に入る内容を、「農業就業人口」と「肥料」の語句を使って書きなさい。

日本は、フランスやアメリカ合衆国に比べると、一定面積の耕地に対する ( ) ことから、一定面積の耕地からより多くの収穫を上げる集約農業の形態をとっていることがわかる。

## 中学地理 グラフ問題3

石炭に関する資料

国名	石炭産出量	採掘可能埋蔵量	可能採掘年数
	万トン	百万トン	年
インド	61244	85562	P
アメリカ	44786	Q	497.1
オーストラリア	70401	R	152.6
南アフリカ共和国	S	9893	38.0

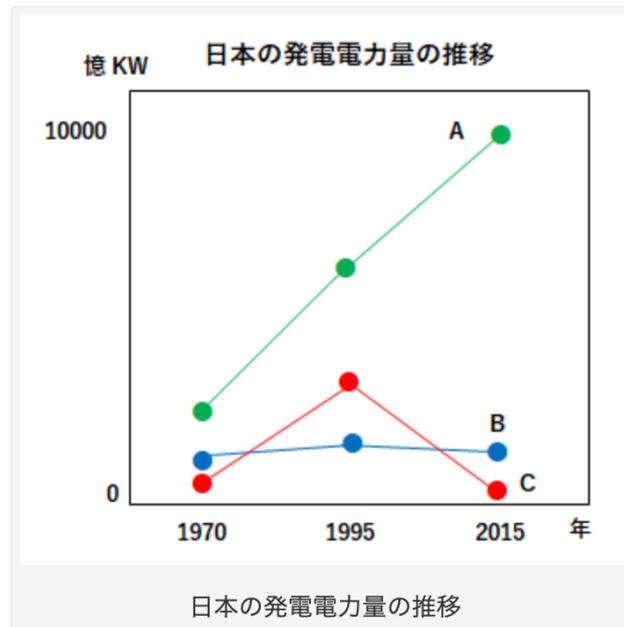
石炭産出量などに関する資料

上の表は、インド、アメリカ合衆国、オーストラリア、南アフリカ共和国の石炭産出量、可能採掘埋蔵量、可能採掘年数を示したものです。この表から読み取れることとして、あてはまものを次の1～4から1つ選びなさい。ただし、**可能採掘年数 = 可能採掘埋蔵量 ÷ 石炭産出量**で求めます。

<選択肢>

1. Pの数値は4か国中最も高い。
2. Qの数値は4か国中最も低い。
3. Qの数値はRの数値の3倍より高い。
4. Sの数値は4か国中最も高い。

## 中学地理 グラフ問題4



上のグラフは、日本の発電電力量の推移を示しています。A,B,Cは、水力、火力、原子力のいずれかです。それぞれ、A,B,Cが、水力、火力、原子力のどれかを答えよ。また、水力発電所、火力発電所の立地場所についての特徴をそれぞれ簡潔に記述せよ。

## 中学地理 グラフ問題5

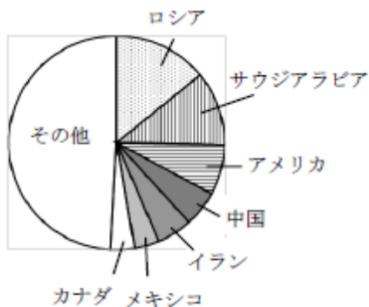
とうもろこしと大豆の輸入先

	とうもろこし	千トン	大豆	千トン
1位	P	11000	P	2000
2位	Q	4000	Q	500
3位	ロシア	100	カナダ	300

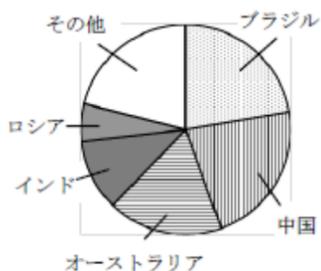
とうもろこし・大豆の輸入先

上の表は、日本のとうもろこし・大豆の輸入先を表したものです。P,Qに入る国をそれぞれ答えよ。

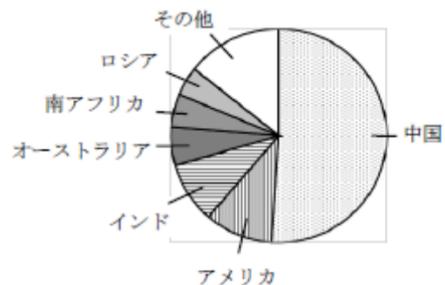
問題1 次のア～ウの円グラフは主な鉱産資源の産出量を示している。正しい鉱産資源を語群よりそれぞれ選びなさい。



ア



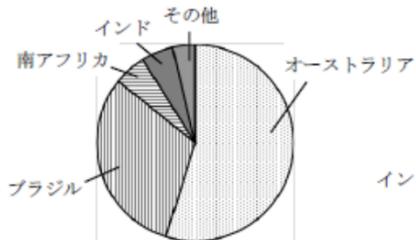
イ



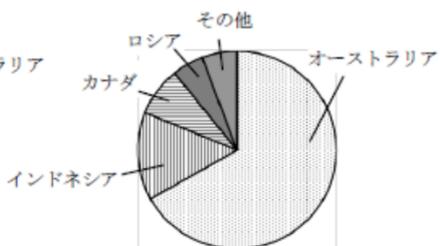
ウ

語群： 石油 石炭 鉄鉱石 レアメタル

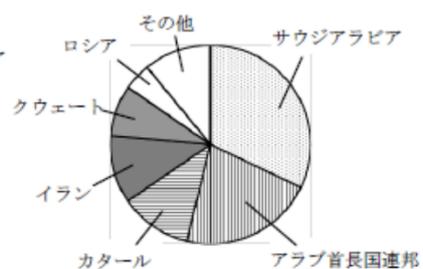
問題2 次のア～ウの円グラフは日本の主な鉱産資源の輸入先を示している。正しい鉱産資源を語群よりそれぞれ選びなさい。



ア



イ



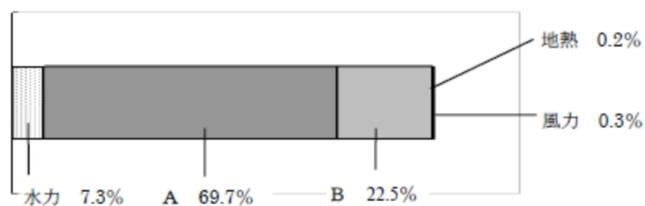
ウ

語群： 石油 石炭 鉄鉱石 レアメタル

問題3 次の表はブラジル、サウジアラビア、オーストラリアの日本への輸出総額と輸出額上位2品目を示している。1～3がそれぞれどこの国か答えなさい。

国	1965年		2005年			
	輸出総額(億円)	輸出額上位2品目		輸出総額(億円)	輸出額上位2品目	
1	833	原油	石油製品	31708	原油	液化石油ガス
2	1987	羊毛	石炭	27062	石炭	鉄鉱石
3	178	鉄鉱石	綿花	4881	鉄鉱石	肉類

問題4 次の棒グラフは日本の発電量の内訳(2010年)を示したものです。AとBに当てはまる発電方法を答えなさい。



## 中学地理 グラフ問題1

イギリスの輸出相手国

	1960年	割合	2010年	割合
1	アメリカ	9%	アメリカ	13%
2	オーストラリア	7%	ドイツ	11%
3	カナダ	6%	フランス	8%
4	西ドイツ	5%	オランダ	7%
5	南アフリカ	4%	アイルランド	6%

イギリス輸出国相手

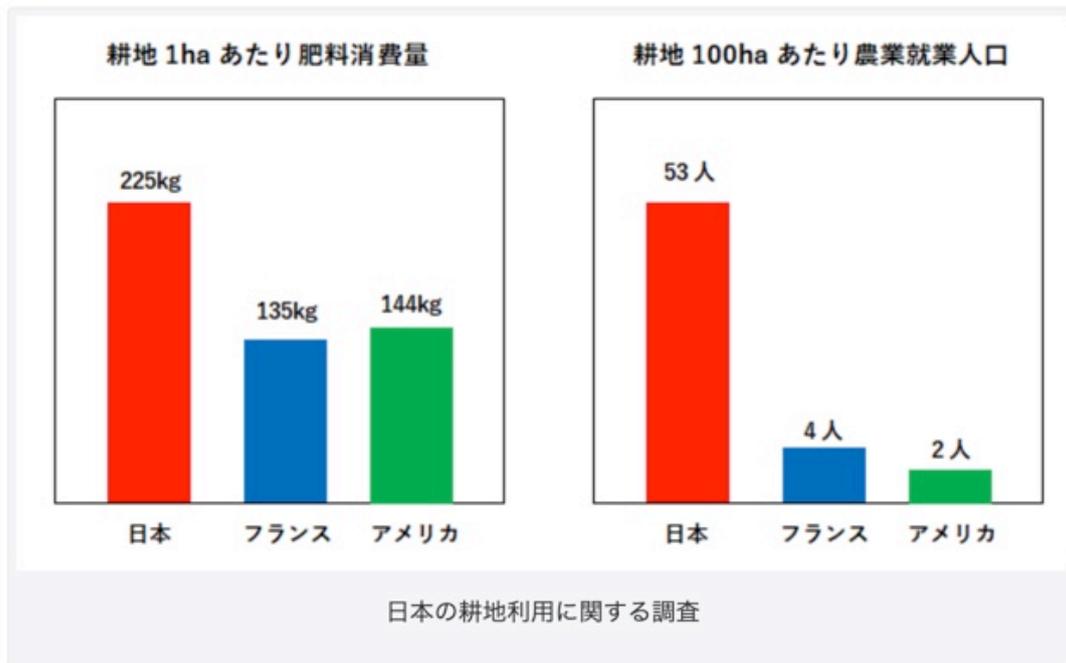
上の表は、イギリスの輸出相手国上位5か国とそれぞれの国への輸出額にしめる割合を示しています。1960年と比べると2010年のイギリスの輸出相手国の上位5か国はどのように変化したといえるか。地域区分に着目し、総額に占める割合の変化を明らかにして簡潔に書け。

### 中学地理解答1

イギリスの輸出相手国上位5か国は、ヨーロッパの国が増えており、輸出総額にしめる割合も大きく増加している。

(解説) イギリスは、かつては、旧植民地などを含めて全世界を相手に貿易をしていたが、近年は、EU加盟国を中心としたヨーロッパ諸国との貿易の比重を高めている。

## 中学地理 グラフ問題2



上の2つのグラフからわかることを以下のようにまとめました。( ) に入る内容を、「農業就業人口」と「肥料」の語句を使って書きなさい。

日本は、フランスやアメリカ合衆国に比べると、一定面積の耕地に対する( )ことから、一定面積の耕地からより多くの収穫を上げる集約農業の形態をとっていることがわかる。

## 中学地理解答2

農業就業人口が多く、肥料の消費量も多い。

## 中学地理 グラフ問題3

石炭に関する資料

国名	石炭産出量	採掘可能埋蔵量	可能採掘年数
	万トン	百万トン	年
インド	61244	85562	P
アメリカ	44786	Q	497.1
オーストラリア	70401	R	152.6
南アフリカ共和国	S	9893	38.0

石炭産出量などに関する資料

上の表は、インド、アメリカ合衆国、オーストラリア、南アフリカ共和国の石炭産出量、可能採掘埋蔵量、可能採掘年数を示したものです。この表から読み取れることとして、あてはまものを次の1～4から1つ選びなさい。ただし、**可能採掘年数＝可能採掘埋蔵量÷石炭産出量**で求めます。

<選択肢>

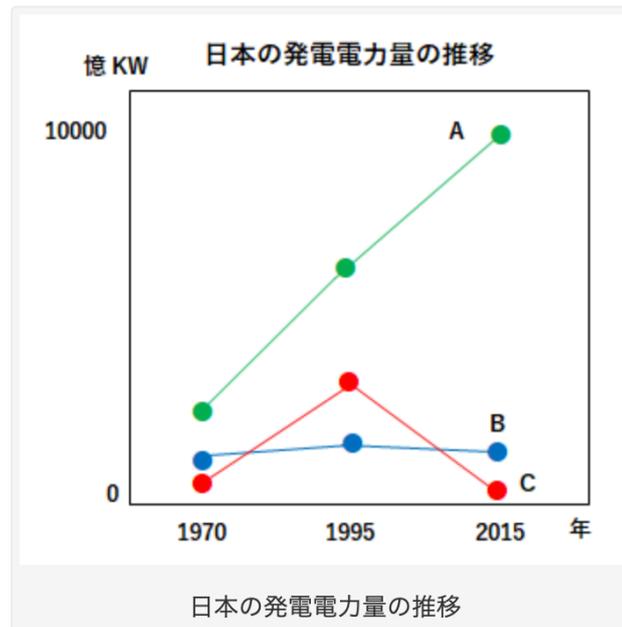
1. Pの数値は4か国中最も高い。
2. Qの数値は4か国中最も低い。
3. Qの数値はRの数値の3倍より高い。
4. Sの数値は4か国中最も高い。

## 中学地理解答3

3

(解説) 可能採掘年数＝可能採掘埋蔵量÷石炭産出量で求まることから、式を変形(数学のきはじの要領)して、QとRは、「可能採掘埋蔵量＝石炭産出量×可能採掘年数」となることを利用して解きます。また、Sは、「石炭産出量＝可能採掘埋蔵量÷可能採掘年数」で求めます。

## 中学地理 グラフ問題4



上のグラフは、日本の発電電力量の推移を示しています。A,B,Cは、水力、火力、原子力のいずれかです。それぞれ、A,B,Cが、水力、火力、原子力のどれかを答えよ。また、水力発電所、火力発電所の立地場所についての特徴をそれぞれ簡潔に記述せよ。

## 中学地理解答4

a火力

b水力

c原子力

水力発電所の立地の特徴…ダムが必要なため山間部に位置する。

火力発電所の立地の特徴…原油を船舶で運んでくるため臨海部に位置する。

## 中学地理 グラフ問題5

とうもろこしと大豆の輸入先

	とうもろこし	千トン	大豆	千トン
1位	P	11000	P	2000
2位	Q	4000	Q	500
3位	ロシア	100	カナダ	300

とうもろこし・大豆の輸入先

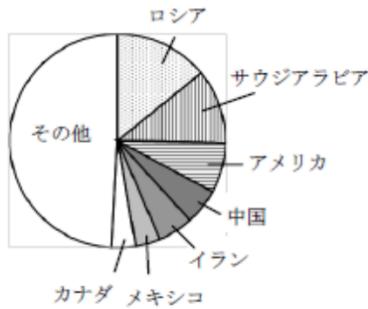
上の表は、日本のとうもろこし・大豆の輸入先を表したものです。P,Qに入る国をそれぞれ答えよ。

## 中学地理解答5

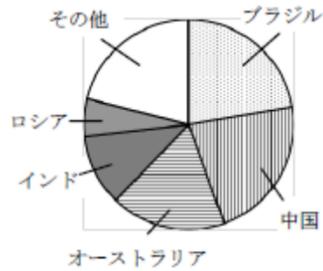
Pアメリカ合衆国

Qブラジル

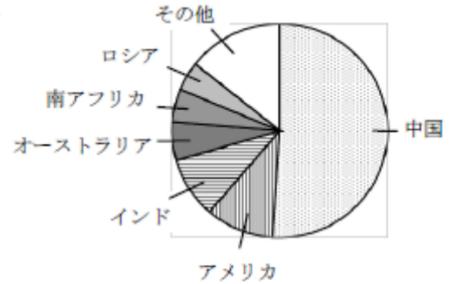
問題1 次のア～ウの円グラフは主な鉱産資源の産出量を示している。正しい鉱産資源を語群よりそれぞれ選びなさい。



ア



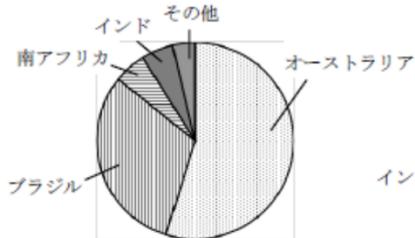
イ



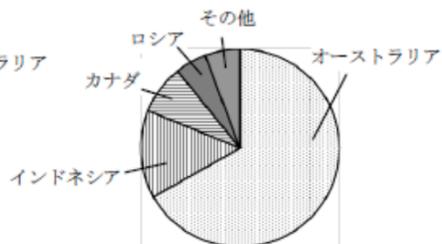
ウ

語群： 石油 石炭 鉄鉱石 レアメタル

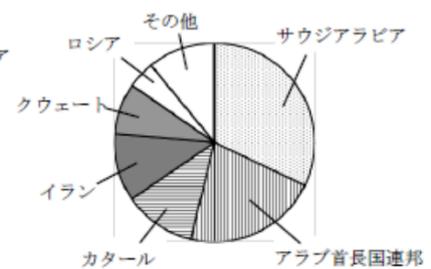
問題2 次のア～ウの円グラフは日本の主な鉱産資源の輸入先を示している。正しい鉱産資源を語群よりそれぞれ選びなさい。



ア



イ



ウ

語群： 石油 石炭 鉄鉱石 レアメタル

問題1

- ア. 石油
- イ. 鉄鉱石
- ウ. 石炭

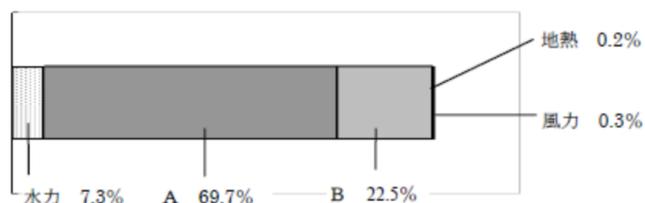
問題2

- ア. 鉄鉱石
- イ. 石炭
- ウ. 石油

問題3 次の表はブラジル、サウジアラビア、オーストラリアの日本への輸出総額と輸出額上位2品目を示している。1～3がそれぞれどこの国か答えなさい。

国	1965年		2005年			
	輸出総額(億円)	輸出額上位2品目		輸出総額(億円)	輸出額上位2品目	
1	833	原油	石油製品	31708	原油	液化石油ガス
2	1987	羊毛	石炭	27062	石炭	鉄鉱石
3	178	鉄鉱石	綿花	4881	鉄鉱石	肉類

問題4 次の棒グラフは日本の発電量の内訳(2010年)を示したものです。AとBに当てはまる発電方法を答えなさい。



問題3

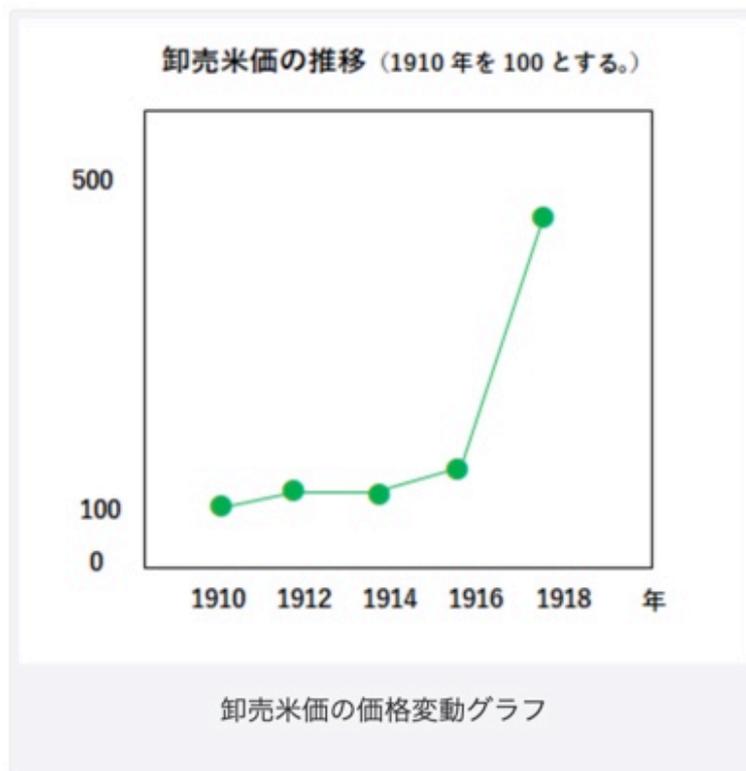
1. サウジアラビア
2. オーストラリア
3. ブラジル

問題4

- A. 火力発電
- B. 原子力発電

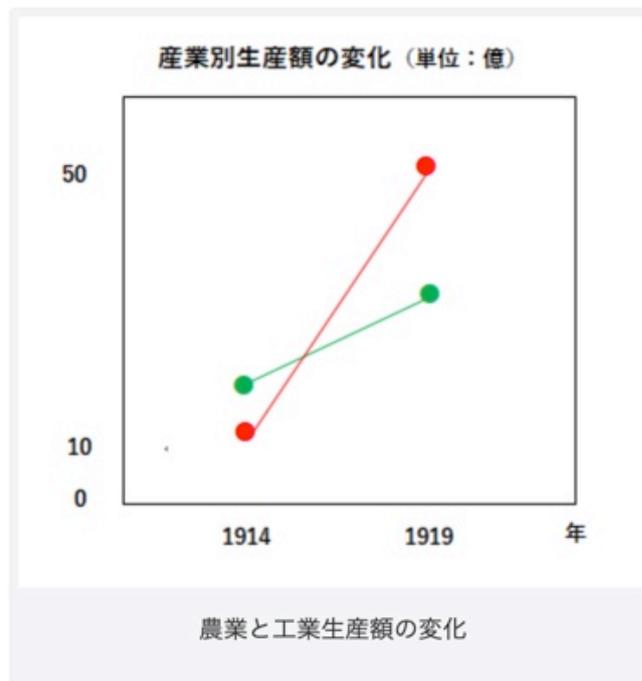
## 歴史グラフの読み取り問題1

次のグラフから、卸売米価が急激に上昇している時期があることがわかりますが、この時期の米価の高騰が原因でおこった出来事を答えよ。



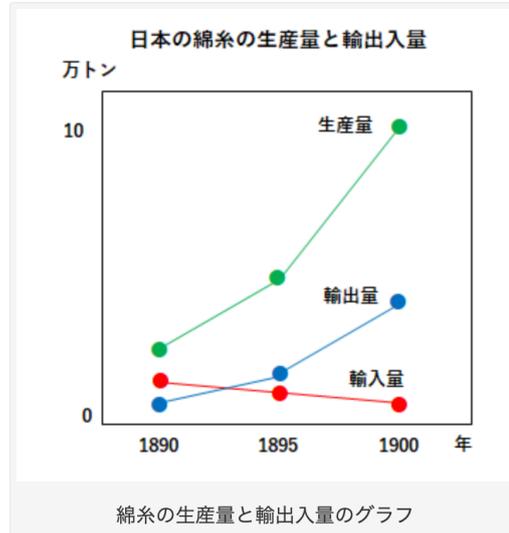
## 歴史グラフの読み取り問題2

次のグラフは、1919年は、工業生産額が農業生産額を上回っていることがわかりますが、その要因の1つは、（ ）景気で輸出が急増したことがあげられます。（ ）に適語を入れよ。



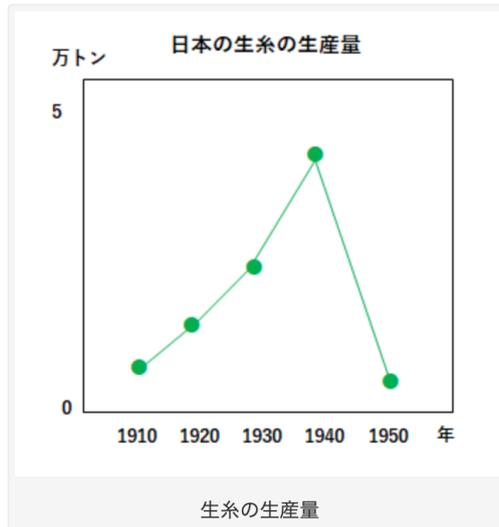
### 歴史グラフの読み取り問題3

次のグラフは、19世紀末の日本の綿糸の生産量と輸出入量を示しています。このグラフから読み取れる変化について、「生産量」「輸出量」「輸入量」の語句を使って書け。



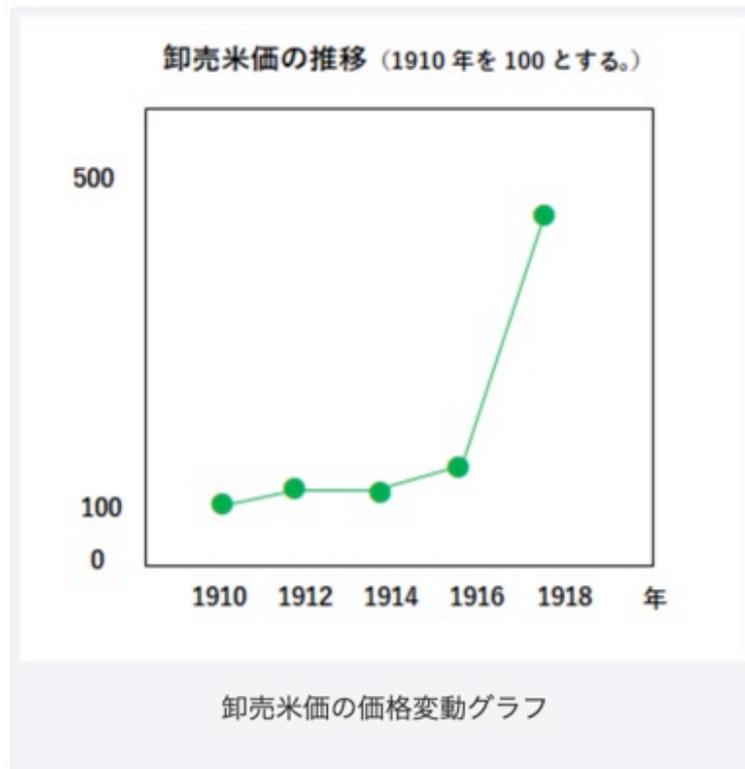
## 歴史グラフの読み取り問題4

次のグラフから生糸の生産量が1940年から1950年にかけて急激に変化しているのは、この間に、アメリカ合衆国との間で、（ ）からである。（ ）に適語を入れよ。



## 歴史グラフの読み取り問題1

次のグラフから、卸売米価が急激に上昇している時期があることがわかりますが、この時期の米価の高騰が原因でおこった出来事を答えよ。



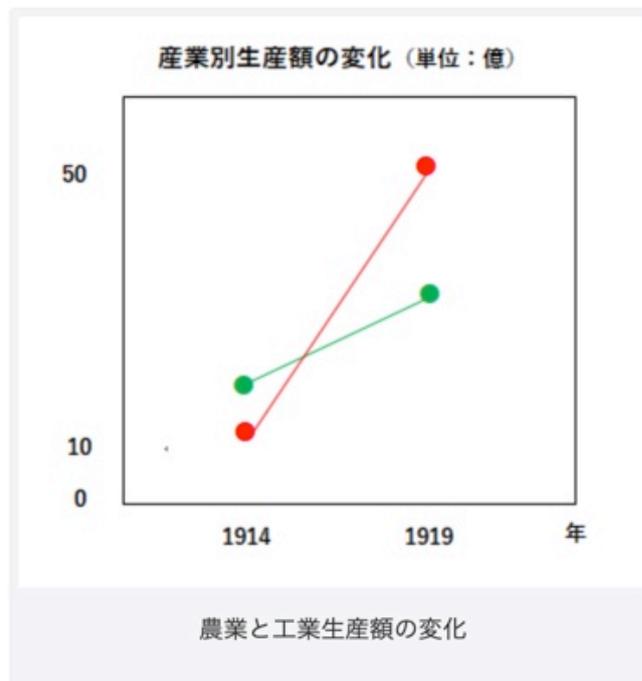
### 歴史グラフ解答1

米騒動

(解説) 米騒動は、1918年米の価格が急に上昇したことから米の安売りを求めて起こった暴動。米騒動の原因は、シベリア出兵を見こした商人たちが、米を買い占めたため、米の値段が急激に上がったから。

## 歴史グラフの読み取り問題2

次のグラフは、1919年は、工業生産額が農業生産額を上回っていることがわかりますが、その要因の1つは、（ ）景気で輸出が急増したことがあげられます。（ ）に適語を入れよ。

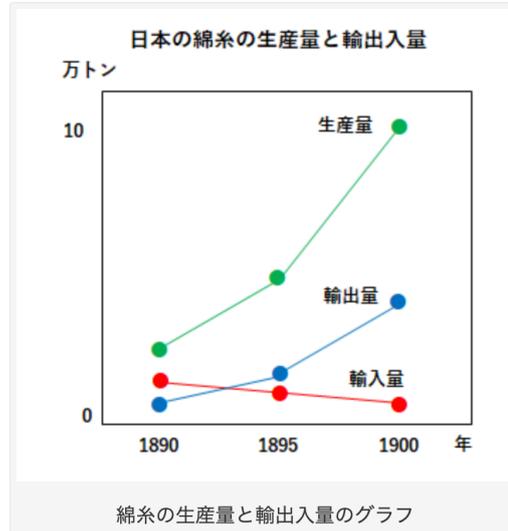


## 歴史グラフ解答2

(第一次) 大戦

### 歴史グラフの読み取り問題3

次のグラフは、19世紀末の日本の綿糸の生産量と輸出入量を示しています。このグラフから読み取れる変化について、「生産量」「輸出量」「輸入量」の語句を使って書け。



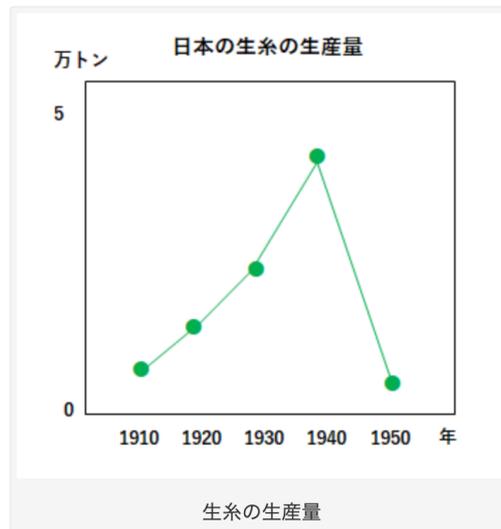
### 歴史グラフ解答3

綿糸の生産量が増加し、輸出量が輸入量を上回るようになった。

(解説) 紡績業は、綿花を原料として、綿糸を生産する産業。綿糸でできた製品が綿織物。

## 歴史グラフの読み取り問題4

次のグラフから生糸の生産量が1940年から1950年にかけて急激に変化しているのは、この間に、アメリカ合衆国との間で、（ ）からである。（ ）に適語を入れよ。



## 歴史グラフ解答4

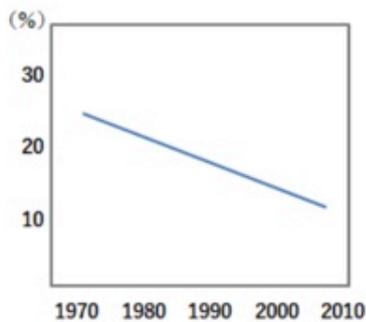
太平洋戦争が起こった

(解説) 製糸業は蚕の繭を原料として、生糸を生産する産業。太平洋戦争が起こり、あまり重要なものでないとされた生糸工業は、軍事工業へと変わった。

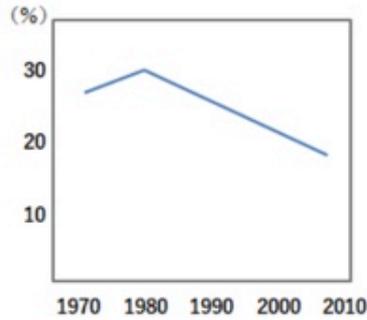
## 公民グラフ読み取り問題1

(1) 「0～14歳」の人口が総人口に占める割合の推移を示しているものとして適切なものを次の(ア)～(ウ)の中から選べ。

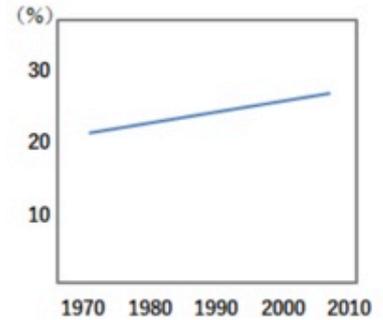
### 0～14歳の総人口に占める割合



ア



イ

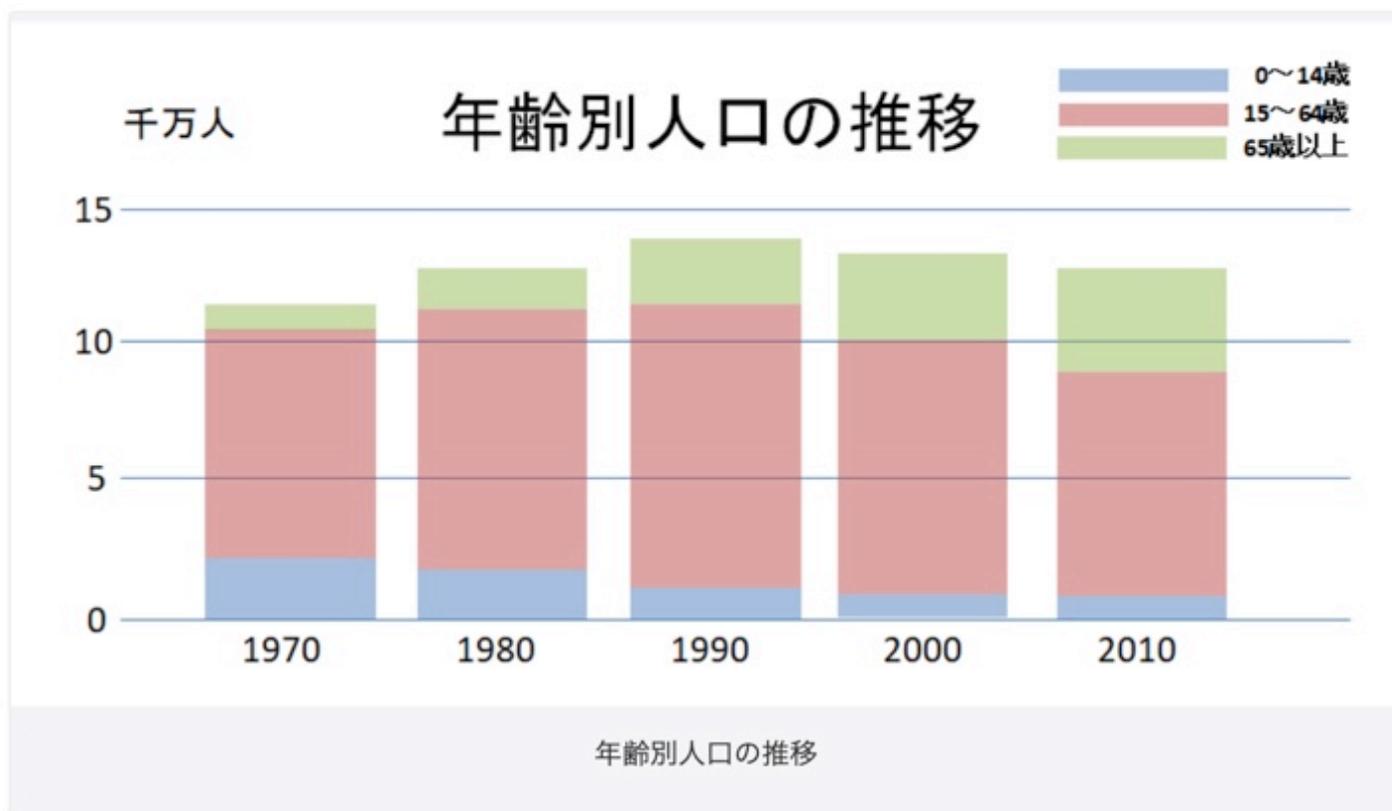


ウ

子どもの総人口に占める割合

(2) 日本の総人口は、将来どのように変化していくと推測できるか。「年齢別人口の推移」のグラフから読み取り、そのように判断できる理由も明らかにして書け。

(3) 「年齢別人口の推移」のグラフを見て、社会保障制度において、「65歳以上」の人々の生活を「15～64歳」の人々を支える場合、1970年から2010年において、どのような課題があるか簡潔に書け。ただし、「減少」「支える人々の負担」の語句を使って書け。



## 公民グラフ読み取り問題2

国家に対して、人間らしい生活を求める社会権について、次の資料は、ある会社の求人広告の一部である。この求人広告では、このまま新聞やネットに掲載することはできません。どこをどのように直せばいいか、簡潔に書け。

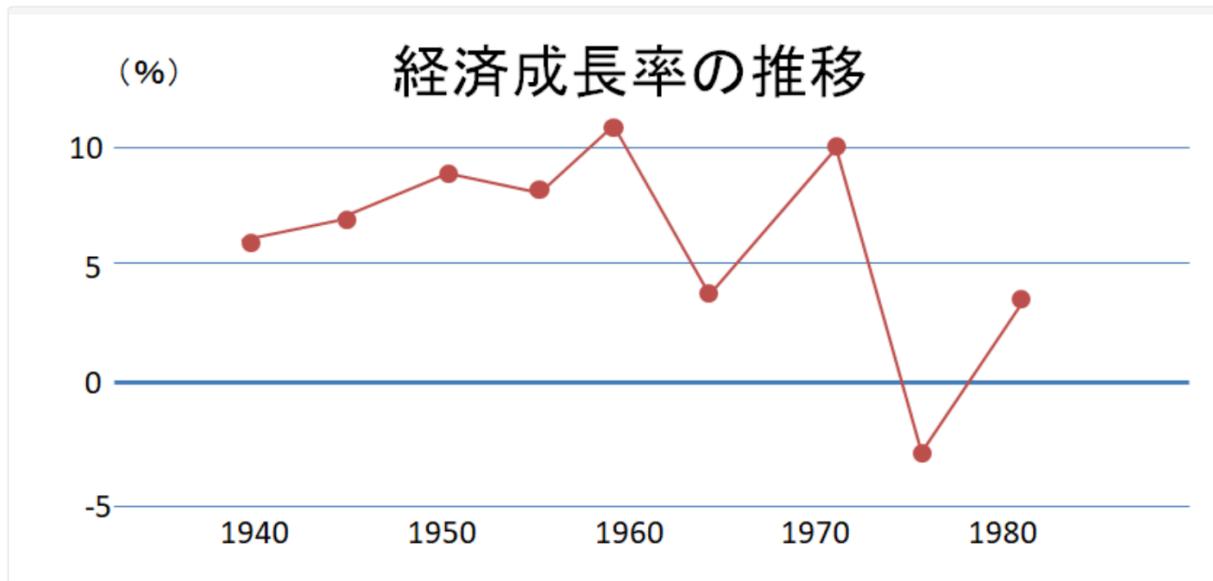
### 男子エンジニア募集

- 年齢 40歳くらいまで
- 資格 普通免許所有者 プログラミング検定
- 給与 当社規定による
- 勤務時間 8時～17時(休憩時間含む)

求人広告

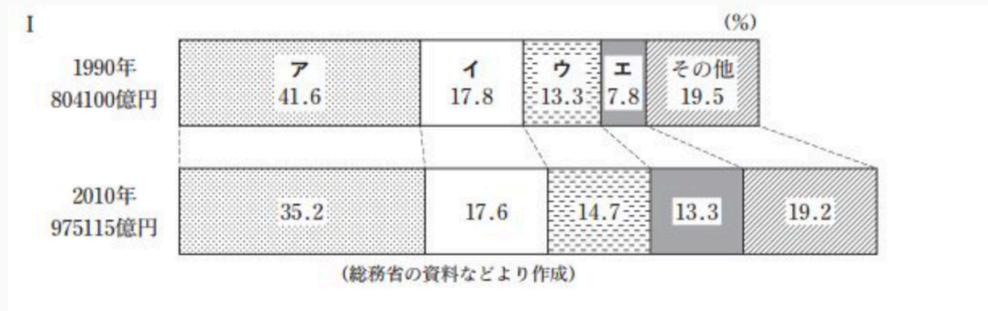
### 公民グラフ読み取り問題3

次の資料は、1940年～1980年の日本の経済成長率の推移を示したものである。この資料について、ある都市の経済成長率が0%を下回っている。その主な理由を、きっかけとなった戦争と資源の名称を明らかにして書け。



“

「公共財や公的サービスの原資となる財源の確保が課題となっている。」とあるが、次のIのグラフは、1990年と2010年における我が国の地方財政歳入総額及び歳入項目別の割合を示したものである。Iのグラフ中のア～エは、地方税、地方交付税交付金、国庫支出金、地方債のいずれかに当てはまる。IIの文章は、1990年と2010年の歳入項目別の変化の様子について述べたものである。地方債に当てはまるのは、Iのグラフ中のア～エのうちのどれか。



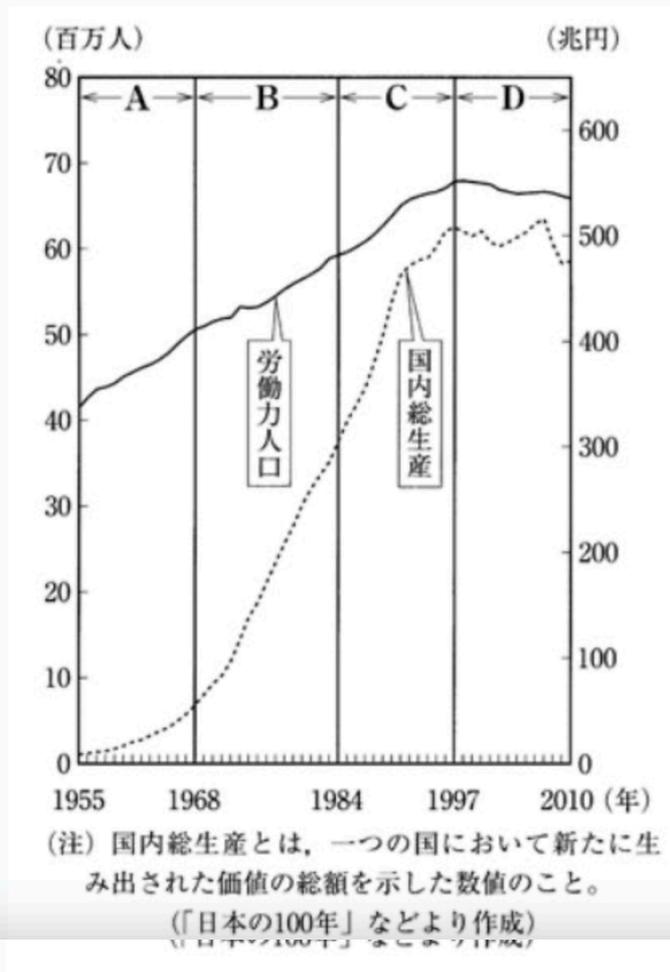
II

- 自主財源である地方税は、金額に大きな変動はないが、全体に占める割合は減少している。
- 歳入総額の増加分は、ほとんどが依存財源で賄われており、依存財源を割合の変化が大きい項目から並べると、地方債、国庫支出金、地方交付税交付金の順になっている。

”

“

「わが国では、第二次世界大戦後の労働力人口の変化が、国内の経済活動に影響を及ぼしてきた。」とあるが、次のグラフは、1955年から2010年までの我が国の労働力人口と国内総生産（GDP）の推移を示したものである。グラフ中のCの時期に当てはまるのは、次のア～エのうちではどれか。



ア 購買意欲の高い労働力人口は増え続け、第二次ベビーブームが訪れる一方、二度の経済危機を乗り越える中で、わが国に始めてコンビニエンスストアが開店するなど、消費スタイルが変化し始めた。

イ 第二次世界大戦後最長となる緩やかな景気回復が続く中で、少子高齢化が一層進んで労働力人口は減少に転じ、男女共同参画社会基本法が制定されるなど、個々人の能力を生かす社会の在り方が問われ始めた。

ウ 大量の労働力として産業の発展に貢献した人々の収入が増え、消費は拡大し、「三種の神器」と言われた冷蔵庫や洗濯機、白黒テレビの家庭への普及率が50%を超え、大量生産・大量消費の時代が始まった。

エ 労働力人口が依然として増え続けるとともに、銀行などが余剰資金を土地や株式に投資し、地価や株価が高騰したが、国の金融規制などにより地価や株価が急落し、バブル経済は崩壊した。

”

●問題●

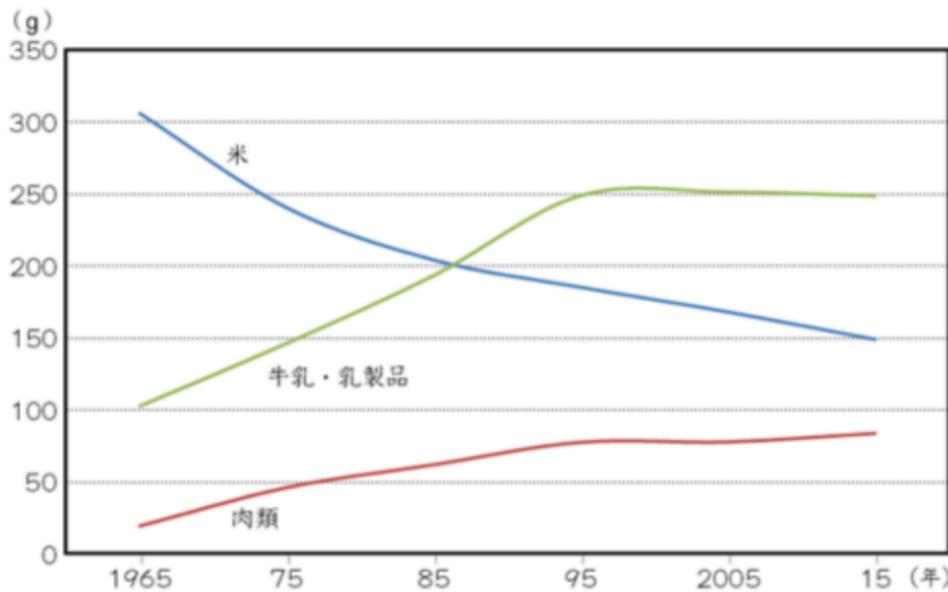
食育をおし進めることは、食料自給率アップにつながると考えられています  
が、その理由を、資料1～3をもとにして説明しなさい。

資料1 日本国内の食料自給率の移り変わり (単位：%)

		1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2015年
食料自給率		73	54	53	43	40	39
品目別自給率	米	95	110	107	104	95	98
	小麦	28	4	14	7	14	15
	野菜	100	99	95	85	79	80
	大豆	11	4	5	2	5	7
	肉類	93	77	81	57	54	54
	牛乳・乳製品	86	81	85	72	68	62

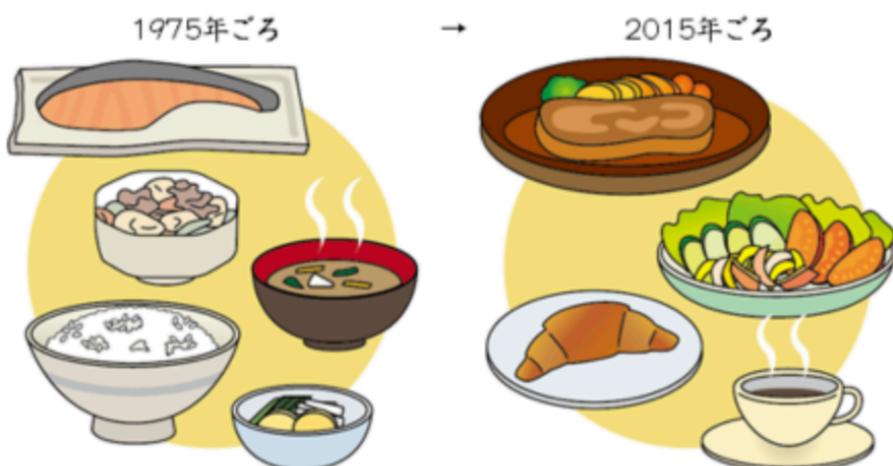
(資料：農林水産省「食料需給表」をもとに作成)

資料2 日本人1人1日あたり品目別消費量の移り変わり



(資料：農林水産省「食料需給表」をもとに作成)

資料3 日本人のおもな食事の移り変わり



## グラフ・表の読み取り練習問題1

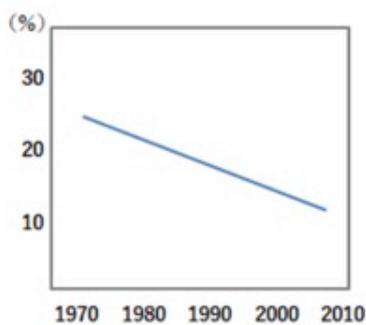
フランス、インド、中国、アメリカ合衆国と日本について、次の資料は、それぞれの小麦の自給率、生産量、輸出量を占めてしています。このうち、インドとある国が1国だけ共通している特色がある。その国名を明記し、その共通点を「自給率」「生産量」「輸出量」の語句を使って簡潔に書け。

国名	小麦の自給率 (%)	小麦の生産量 (千 t)	小麦の輸出量 (千 t)
フランス	190	38614	21502
インド	108	93510	7168
中国	97	121926	563
アメリカ	170	57967	34691
日本	11	812	244

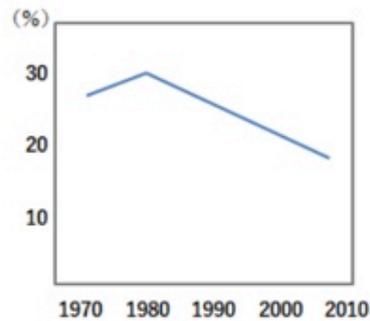
## 公民グラフ読み取り問題1

(1) 「0～14歳」の人口が総人口に占める割合の推移を示しているものとして適切なものを次の（ア）～（ウ）の中から選べ。

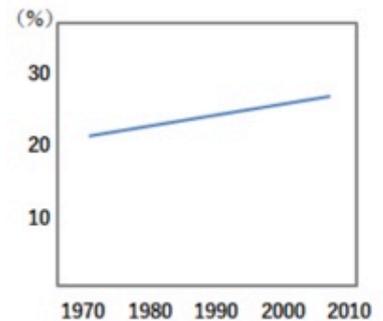
### 0～14歳の総人口に占める割合



ア



イ



ウ

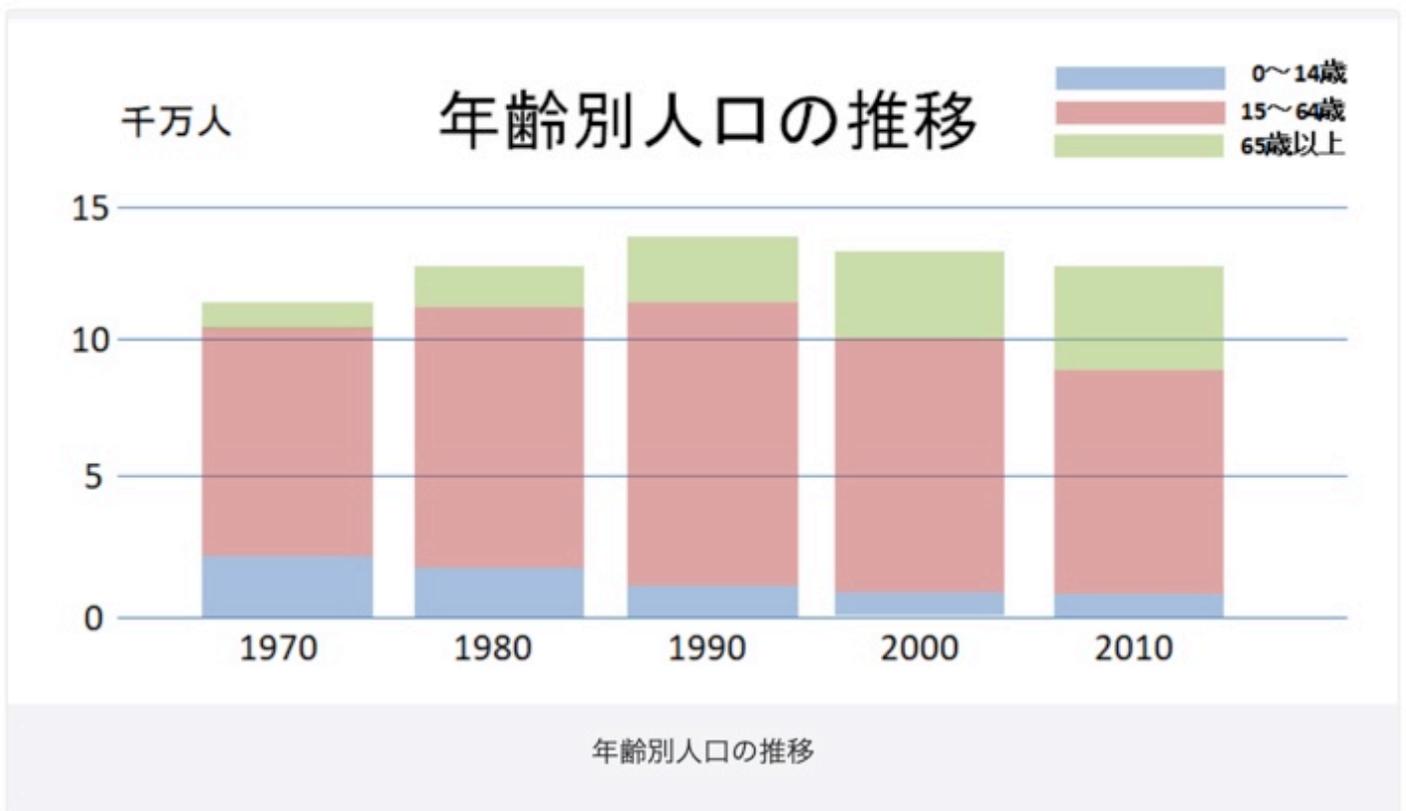
子どもの総人口に占める割合

## 公民グラフ読み取り解答

(1) ア

(2) 日本の総人口は、将来どのように変化していくと推測できるか。「年齢別人口の推移」のグラフから読み取り、そのように判断できる理由も明らかにして書け。

(3) 「年齢別人口の推移」のグラフを見て、社会保障制度において、「65歳以上」の人々の生活を「15～64歳」の人々を支える場合、1970年から2010年において、どのような課題があるか簡潔に書け。ただし、「減少」「支える人々の負担」の語句を使って書け。



## 公民グラフ読み取り解答

(2) 0～14歳の人口が減少していることから、総人口は減少していくと考えられる。

(3) 65歳以上の人口あたりの15～64歳の人口が減少しており、支える人々の負担が増加している。

## 公民グラフ読み取り問題2

国家に対して、人間らしい生活を求める社会権について、次の資料は、ある会社の求人広告の一部である。この求人広告では、このまま新聞やネットに掲載することはできません。どこをどのように直せばいいか、簡潔に書け。

### 男子エンジニア募集

- 年齢 40歳くらいまで
- 資格 普通免許所有者 プログラミング検定
- 給与 当社規定による
- 勤務時間 8時～17時(休憩時間含む)

求人広告

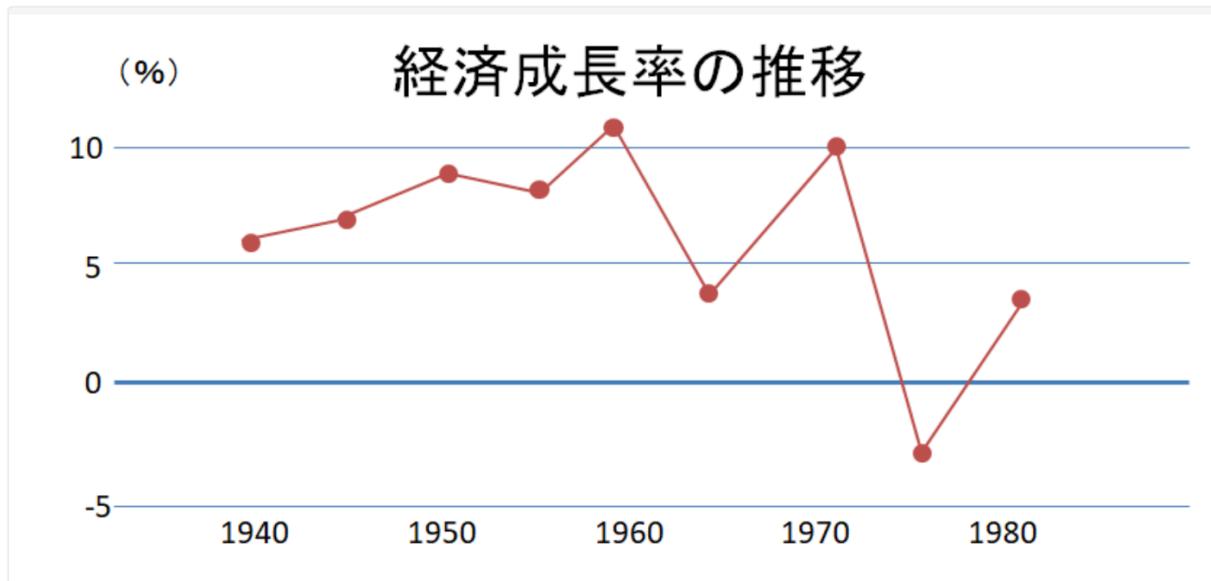
## 公民グラフ読み取り解答2

男子エンジニア募集をエンジニア募集にする。

→解説 1986年の男女雇用機会均等法が施行され、職場における男女差別を改善する試みがなされている。

### 公民グラフ読み取り問題3

次の資料は、1940年～1980年の日本の経済成長率の推移を示したものである。この資料について、ある都市の経済成長率が0%を下回っている。その主な理由を、きっかけとなった戦争と資源の名称を明らかにして書け。

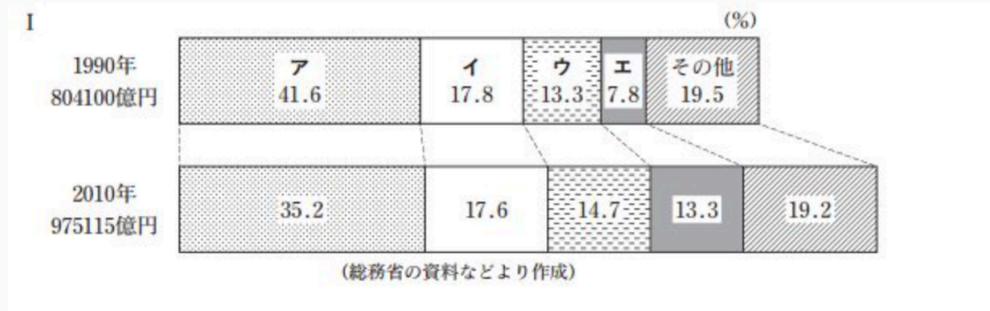


### 公民グラフ読み取り解答3

(第4次) 中東戦争の影響で、石油の価格が上昇したから。

“

「公共財や公的サービスの原資となる財源の確保が課題となっている。」とあるが、次のIのグラフは、1990年と2010年における我が国の地方財政歳入総額及び歳入項目別の割合を示したものである。Iのグラフ中のア～エは、地方税、地方交付税交付金、国庫支出金、地方債のいずれかに当てはまる。IIの文章は、1990年と2010年の歳入項目別の変化の様子について述べたものである。地方債に当てはまるのは、Iのグラフ中のア～エのうちのどれか。



II

○自主財源である地方税は、金額に大きな変動はないが、全体に占める割合は減少している。

○歳入総額の増加分は、ほとんどが依存財源で賄われており、依存財源を割合の変化が大きい項目から並べると、地方債、国庫支出金、地方交付税交付金の順になっている。

”

入試当日は、「地方税」「地方交付税交付金」「国庫支出金」「地方債」という言葉が出てきて、「地方自治なんてちゃんと勉強していない!」と焦った受験生も多かったことでしょう。また、「割合」という言葉に拒否反応を示して、「これは捨て問!」と決めつけてしまった受験生もいたかもしれません。

しかし、この問題は地方自治の知識を問うているわけでもなければ、複雑な割合計算が必要なわけでもありません。常識的な読解力と簡単な引き算ができれば確実に解けます。解き方の手順を示しますね。

まずは、文章を読解しましょう。IIの文章の1文目は、地方税の金額はほぼ変わっていないけれど割合が減少している、という意味です。

IIの文章の2文目にある「歳入総額の増加分は、ほとんどが依存財源で賄われており」とは、歳入が増えたのは依存財源が増えたからだ、という意味です。その依存財源について、「割合の変化が大きい項目から並べると、地方債、国庫支出金、地方交付税交付金の順」とあるので、地方債の割合の変化が一番大きいと分かります。

次に、グラフから読み取れる情報を整理します。ア～エの割合の変化を見ていきます。

・ア →  $35.2 - 41.6 = -6.4$

・イ →  $17.6 - 17.8 = -0.2$

・ウ →  $14.7 - 13.3 = 1.4$

・エ →  $13.3 - 7.8 = 5.5$

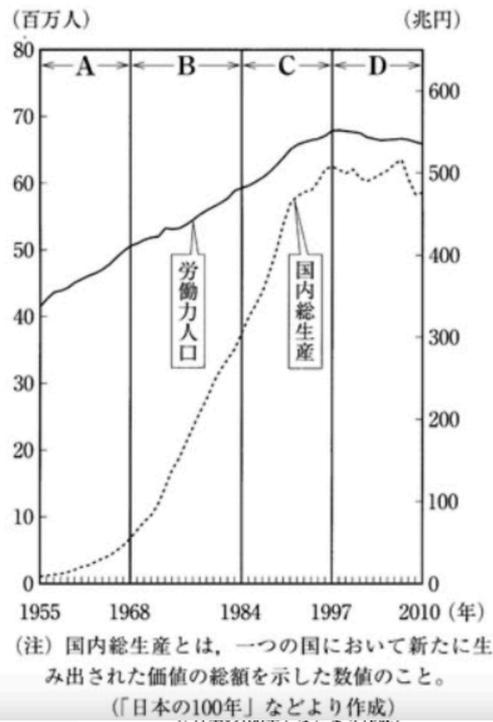
アとイは割合が減少(マイナスの変化)しているので、IIの文章の1文目と合わせて考えると、どちらかが地方税です。Iのグラフから、金額の変化がより小さいのはアなので、アが地方税です。

残っているイ～エのうち、エは割合が大幅に増加しています。先ほど検討したIIの文章の2文目と合わせて考えると、エが地方債だと判断できます。したがって、正解はエです。

「地方債」「依存財源」などの言葉を知らなくても正解を導けますよね?

“

「わが国では、第二次世界大戦後の労働力人口の変化が、国内の経済活動に影響を及ぼしてきた。」とあるが、次のグラフは、1955年から2010年までの我が国の労働力人口と国内総生産（GDP）の推移を示したものである。グラフ中のCの時期に当てはまるのは、次のア～エのうちではどれか。



ア 購買意欲の高い労働力人口は増え続け、第二次ベビーブームが訪れる一方、二度の経済危機を乗り越える中で、わが国に始めてコンビニエンスストアが開店するなど、消費スタイルが変化し始めた。

イ 第二次世界大戦後最長となる緩やかな景気回復が続く中で、少子高齢化が一層進んで労働力人口は減少に転じ、男女共同参画社会基本法が制定されるなど、個々人の能力を生かす社会の在り方が問われ始めた。

ウ 大量の労働力として産業の発展に貢献した人々の収入が増え、消費は拡大し、「三種の神器」と言われた冷蔵庫や洗濯機、白黒テレビの家庭への普及率が50%を超え、大量生産・大量消費の時代が始まった。

エ 労働力人口が依然として増え続けるとともに、銀行などが余剰資金を土地や株式に投資し、地価や株価が高騰したが、国の金融規制などにより地価や株価が急落し、バブル経済は崩壊した。

”

コンビニ初1974年 セブン 東京  
 第二次ベビーブーム 1971～1974  
 三種の神器 1950後半 白黒テレビ1960年

分かりやすい選択肢イから検討します。「労働力人口が減少に転じ」とありますが、グラフの中で労働力人口が減少に転じているのはDの時期だけです。したがって、Dがイです。

次に、「バブル経済は崩壊した」とあるエを検討します。バブル経済が崩壊すれば、国の豊かさを表す国内総生産（GDP）が下降に転じると判断できるでしょう。したがって、Dはイなので、Dの前のCがエとなり、正解はエです。

細かい年号や近現代史の知識を知らなくても、グラフから情報をしっかり読み取れば解ける問題でした。

●問題●

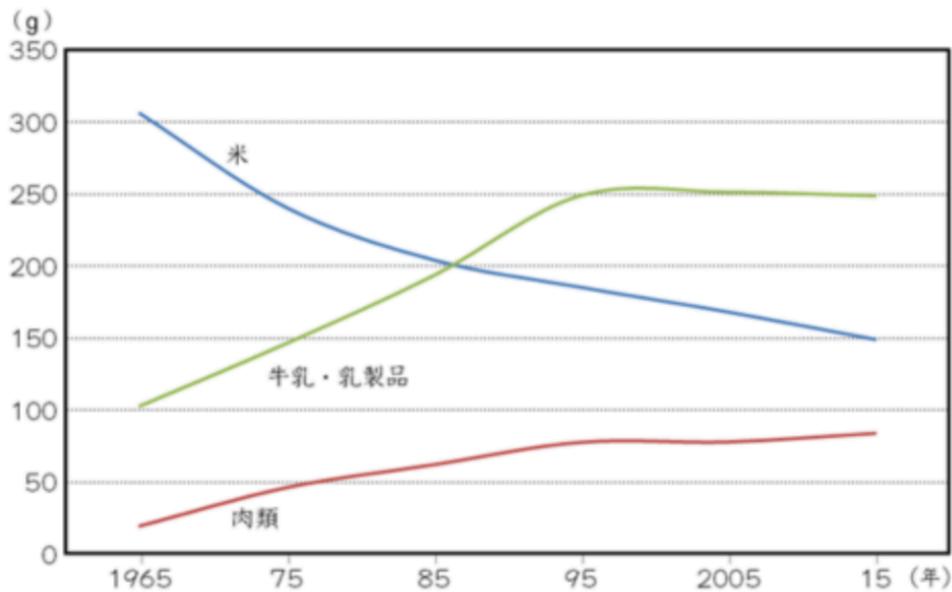
食育をおし進めることは、食料自給率アップにつながると考えられています  
が、その理由を、資料1～3をもとにして説明しなさい。

資料1 日本国内の食料自給率の移り変わり（単位：％）

		1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2015年
食料自給率		73	54	53	43	40	39
品目別 自給率	米	95	110	107	104	95	98
	小麦	28	4	14	7	14	15
	野菜	100	99	95	85	79	80
	大豆	11	4	5	2	5	7
	肉類	93	77	81	57	54	54
	牛乳・乳製品	86	81	85	72	68	62

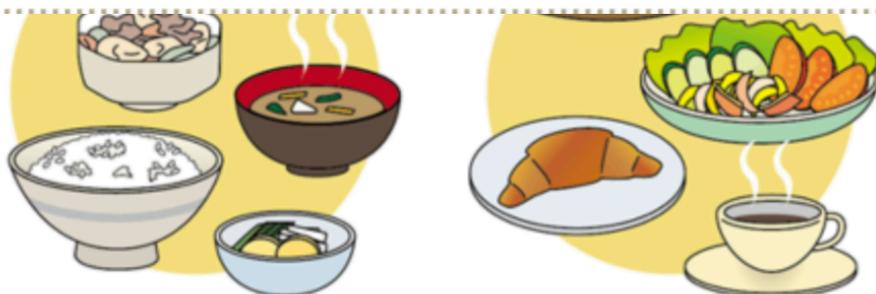
（資料：農林水産省「食料需給表」をもとに作成）

資料2 日本人1人1日あたり品目別消費量の移り変わり



●模範解答例●

食育をおし進めることは、日本国内でほぼ自給できている米の消費を増やし、  
輸入にたよっている肉類や牛乳・乳製品などの消費を減らすことにつながるの  
で、食料自給率アップにつながるから。



## グラフ・表の読み取り練習問題1

フランス、インド、中国、アメリカ合衆国と日本について、次の資料は、それぞれの小麦の自給率、生産量、輸出量を占めてしています。このうち、インドとある国が1国だけ共通している特色がある。その国名を明記し、その共通点を「自給率」「生産量」「輸出量」の語句を使って簡潔に書け。

国名	小麦の自給率 (%)	小麦の生産量 (千 t)	小麦の輸出量 (千 t)
フランス	190	38614	21502
インド	108	93510	7168
中国	97	121926	563
アメリカ	170	57967	34691
日本	11	812	244

### グラフ・表の読み取り練習問題1の解答

その国名は中国で、共通するのは、自給率が100%前後で、生産量が多いわりに輸出量が少ない。

<解説>

インド、中国は、人口が非常に多いため、自国で生産した小麦を消費するため、自給率が100%前後であり輸出が少ない。